

学会だより

常任幹事会記録

開催日：平成14年5月18日

場 所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長 佐野芳雄，副会長 喜多村啓介，平田豊，堤伸浩，渡邊和男，吉田薫，門脇光一，矢野昌裕，根本博，谷坂隆俊，森川利信，川上直人，中村郁郎，貴島祐治

各常任幹事の経過報告を行った後，学会賞の3年間推薦継続に伴う内規改正 科研応募の動向と説明会の開催，BSの問題点と改善策などについて検討した。

開催日：平成14年7月27日

場 所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長 佐野芳雄，副会長 喜多村啓介，平田豊，堤伸浩，吉田薫，木庭卓人，門脇光一，矢野昌裕，谷坂隆俊，森川利信，川上直人，中村郁郎，貴島祐治

各常任幹事の経過報告を行った後，学会賞の3年間推薦継続に伴う内規改正，BSの問題点と改善策，2005年SABRAO大会などについて検討した。

第19期日本学術会議の会員候補者の推薦について

日本育種学会では従来から，日本学術会議会員候補の推薦を行って来ております。現在，次期の第19期会員（任期，2003年7月～2006年6月の3年間）の推薦時期にあたっております。

しかし，現在学術会議の組織体制について，総合科学技術会議「日本学術会議の在り方に関する専門調査会」において検討がすすめられており，まもなく結論がでる予定です。その結果を受けて，改めて各学会に正式の推薦依頼が送付されて来るようになっております。その新しい依頼内容に従って，育種学会が具体的な推薦に入ります。

当分の間，随時，学会ホームページ(URL <http://www.nacos.com/jsb/>)にアクセスして下さいますよう，お願いいたします。

集会の案内

不二たん白質研究振興財団公開講演会「体によい大豆とこれからの食生活を考える」

1. 日時：平成14年11月8日(金)午後1時～5時。2. 場所：大阪国際会議場12F特別会議場 〒530-0005 大阪市北区中ノ島5丁目3番51号 TEL 06-4803-5555(代表)。3. 講演内容：(1)日本人の食生活と大豆たん白質現代に生きる先人の知恵。昭和女子大学教授・お茶の

水女子大学名誉教授 島田淳子。(2)骨の健康や更年期のための大豆食品の新しい役割。辻学園栄養専門学校教授 広田孝子。(3)大豆たん白質と健やかな食生活 健康で生き続けるために。川崎医療福祉大学医療技術学部教授 藤田美明。(4)生活習慣病と食生活 医療に生きる大豆たん白質。箕面市立介護老人保健施設長・前国立循環器病センター研究所副所長 山本 章。4. 申し込み：先着400名。無料。申し込み締め切り10月20日。FAXまたは郵送にて。5. 問い合わせ・申し込み先：不二たん白質研究振興財団，住所：〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町1番地 不二製油株式会社内，TEL：0724-63-1764，FAX：0724-63-1756，担当：上田，橋本。

EUCARPIA 2003 Meeting: Classical versus Molecular Breeding of Ornamentals

25-29 August, 2003, Weihenstephan, Germany.

Homepage: <http://www.wzw.tum.de/zpb/eucarpia.htm>

研究助成公募の案内

平成15年度不二たん白質研究振興財団助成課題募集

I. 研究者の範囲：国・公・私立大学，国・公立研究機関およびこれに準じる研究機関に所属する研究者

II. 特定研究(共同研究)：1. 特定研究の奨励分野：21世紀の高齢社会における大豆たん白質(食品)の効用。2. 助成額：単年度で500万円まで(採択予定件数約1件)。3. 研究期間：平成15年4月より原則として3ヶ年。4. 応募希望の方は事務局に連絡。

III. 一般研究：1. 研究領域：大豆たん白質を主体としたたん白質および関連成分に関する研究(食品科学・食品工学・栄養科学・健康・臨床栄養・遺伝，育種)。2. 萌芽の研究および新進気鋭の研究者(40歳以下)の研究について，選考の際配慮。3. 研究助成額：1件100万円(採択予定件数約25件)。4. 研究期間：平成15年4月より1ヶ年。

IV. 応募方法：氏名，所属機関名，役職名，機関所在地，〒番号，Tel 番号をFax 又はハガキにて平成14年11月22日までに事務局へ連絡。折返し募集要項および応募書類をご送付。応募書類に必要事項をご記入の上，事務局まで提出。

V. 問合せ・申込先：〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町1番地 不二製油(株)内(財)不二たん白質研究振興財団，事務局 上田，橋本，Tel. 0724-63-1764 Fax. 0724-63-1756

平成15年度笹川科学研究助成募集

対象者：平成15年4月1日現在35歳以下の者(大学院生、学芸員等の職員は年齢制限なし)。募集期間：平成14年9月2日から14年10月15日。詳細はホームページ <http://www.jss.or.jp> を参照。

談話会だより

北陸育種談話会：平成13年度総会，第39回講演会，第5回北陸作物学会賞授賞式・記念講演およびシンポジウム

平成14年7月26日(金) 於 富山県立大学(1)総会(2)北陸作物学会賞授賞式・記念講演1. 水稻の乳苗移植栽培に関する研究 学術賞 中谷治夫(元：石川県農試 現：河北潟ゆうきの里)，2. 葉色板活用によるコシヒカリ安定栽培技術の確立 功労賞 林征三(富山農業改良普及センター)，浅野孝三郎・石原信一郎(元：富山県農業試験場)，今井秀昭(高岡農業改良普及センター)，3. 中山間地におけるイネ，ムギ，雑穀の栽培及び品種育成に関する研究 功労賞 斎藤稔(長野県農事試)，(3)シンポジウム1. 手作り100%，新鮮・安全直販“味彩工房”：羽賀裕美子(味彩工房) 元氣と再発見を作る「みのり棚田の学校」：山西陽作(みのり棚田の学校実行委員長) 2. 自然が好き，農業が好き，夢が好き：北村歩(六星生産組合) 4. パネルディスカッション：コーディネーター井村光夫(石川県農業短大)，コメンテーター今井勝(明治大農)，(4)一般講演 平成14年7月27日(土) 於 富山県立大学，イネ染色体断片置換系統群を用いた有用形質に関するQTL解析，第1報 着粒数及び稈長について(蛭谷武志・山本良孝・矢野昌裕) 晩植適性をもつ水稻品種の特性 出穂期と草型について(後藤明俊・笹原英樹・小牧有三・三浦清之・上原泰樹) 高再分化能に関するコシヒカリIL系統の選抜と評価(矢頭治・小沢憲二郎・田村克徳・重宗明子・青木秀之・大川安信) / Tos17 ミュータントパネルで見つかった玄米形質突然変異(重宗明子・田村泰章・青木秀之・梁正偉・宮尾安藝雄・廣近洋彦・矢頭治) 栽培管理が異なる水稻の出液中に含まれるサイトカイニン(t-ZR)含有量(鯨幸夫・橋本和幸・葭田隆治・新谷美紀・奥野志津枝・前田裕二郎) 水稻根系からのRb吸収量と栽培条件および収量構成要素との関連性(鯨幸夫・前田裕二郎・三上敦子・宮川修・橋本和幸・新谷美紀・奥野志津枝・折谷隆志) 作物の発芽と生育に及ぼす種子のTOK被覆の効果(福田泰久・道音澄夫・野村利和・大橋修・山川哲規・角田佐保枝・葭田隆治) 異なる窒素施肥量がコシヒカリの蒸散量に及ぼす影響(橋本至・伊藤亮一) 中国品種の登熟期における物質の転流(楊重法・井上直人) 出穂前乾物生産及び穎花数確保からみた晩植水稻の品種特性(山口弘道・千葉雅大・松村修) 水稻貯蔵種子の発芽に及ぼす浸種温度および浸種日数の影響(2)品種間差(佐藤徹・川上修・

長澤裕滋) 条幅で判断するコシヒカリの中干し開始期判定板の開発(猪野雅哉・永島秀樹・中村啓二・大西良祐・畑中博英・国立卓生・黒田晃) 直播水稻の群落内個体間競争に及ぼす苗立ち遅速の影響(千葉雅大・山口弘道・松村修) 過酸化石灰被覆物の加温処理が直播水稻種子の出芽，苗立ちに及ぼす影響 第3報 簡易加温処理による出芽促進の可能性(野村幹雄・高橋渉・鍋島弘明・尾島輝佳) 土壌要因が水稻の収量品質および窒素と珪酸の吸収に及ぼす影響(山口泰弘・井上健一) 登熟期間の水管理による胴割粒・乳白粒の発生軽減(中村啓二・橋本良一・永島秀樹) 平成13年度の気象経過からみた基白・背白粒の発生要因(表野元保・小島洋一郎・蛭谷武志・山口琢也・向野尚幸・山本良孝) 人工的高温条件下における水稻の登熟性検定法(表野元保・小島洋一郎・蛭谷武志・山口琢也・向野尚幸・山本良孝) 石膏の施用がダイズの根系生育および収量構成要素に及ぼす影響(鯨幸夫・朱玉梅・橋本和幸・宮川修) 転換畑ダイズ生産地における蛋白質含量等品質変動の実態(松村修・田淵公清・千葉雅大・山口弘道) 「あやこがね」を導入した大豆の作期幅拡大効果(服部誠・田村良浩) 大豆の落葉処理が莢先熟の軽減及び生育・収量・品質に及ぼす影響(田村良浩・佐藤孝文・服部誠) 播種時期の異なる大豆の開花・着莢と物質生産，窒素吸収経過について(井上健一) 北部タイに近年帰化した雑草アワユキセンダングサ(原田二郎・S. ズングソンティポー) 肥料の種類・施肥量が夏まきキャベツ・土壌ECに及ぼす影響(松崎守夫・亀川健一・高橋智紀・細川寿) 小麦新品種「ユメセイキ」の育成(牛山智彦・谷口岳志・細野哲) 短柱花自殖性ソバの生育特性(斎藤稔・石川武之甫) 水ストレスが普通ソバの受精・結実に及ぼす影響(水野寛・萩原素之) XYZ系極微弱発光分析法を用いたダツタンソバ粉の活性酸素消去能(藤田かおり・井上直人・秋山美展) 福井県産そばのポリフェノール含量とラジカル消去活性(杉本雅俊・山田実・北倉芳忠) 細胞質雄性不稔系統を用いた「一年生ソルガム×多年生ソルガム」一代雑種の生育特性および種子稔性(春日重光・海内裕和・後藤和美) 消化性に優れるソルガム新品種「秋立」(春日重光・海内裕和・我有満) 高消化性遺伝子 bmr-18 を持つソルガム一代雑種親自殖系統「JN358」の育成(春日重光・海内裕和・我有満・萩原英雄・滝沢康孝) 加熱処理後の胚乳色相の優れた大麦品種の育成(細野哲・牛山智彦・谷口岳志) 転作田における硝子粒発生機構の解明 第1報 栽培法が硝子粒に与える影響と発生過程について(山田実・笠田豊彦・倉内美奈・井上健一) 六条大麦品種「ファイバースノウ」の消雪後追肥方法が収量・硝子率に及ぼす影響(沢田耕一・野村幹雄)

日本育種学会会員異動(2002.4.24 ~ 2002.7.23)

普通会員入会：江部成彦，川口健太郎，黒木慎，小林晃，田澤暁子，中道浩司，三木一嘉(北海道)，王克晶，阿部陽，中塚貴司(岩手)，今西弘幸(秋田)，伊原徳子，太田理恵子，神谷梢，鈴木淳子，永田俊文，平賀勸，水野浩志，森中洋一，保田浩(茨城)，雨宮昭彦，高野裕二(千葉)，小栗佳子(東京)，今井りつ子，新畑智也，吉野理香(神奈川)，中島敏彦(新潟)，藤澤由紀子(福井)，大須賀寿美子(長野)，久保達也(静岡)，國久美由紀，西林双龍(三重)，角谷晃司(大阪)，伊藤美佳子(奈良)，田中勝(宮崎)，Arifin Noor S(沖繩)

学生会員入会：石郷岡典子，大西郁実，北村美佳，品田博史，篠塚大士，高橋亜紀子，野呂祐司，森正彦(北海道)，柿崎智博(岩手)，伊藤卓朗，井上寿史，深井英吾，森田竜平(宮城)，加納睦美(山形)，胡景杰，Tomiko Claudia Otsu，Syafaruddin，小堀智史，手塚孝弘，中谷智恵，吉岡洋輔(茨城)，Rodriguez Benitez Eduardo，貝賀伸保(栃木)，木村光宏(埼玉)，Hossain Md. Shakhawat，Teuku Tajuddin，田村公司(千葉)，Vo Cong Thanh，榊原伊織，菅原正士，保木祐樹，吉村和馬(東京)，郎亜琴，伊藤圭介，小泉勝利(神奈川)，山下陽子(新潟)，山本敏博(静岡)，辰巳朋子(愛知)，唯野秀崇(三重)，影山大輔，川崎光代，斎藤佳言(京都)，中村文彦，吉岡宏幸(大阪)，Thitaporn Sukhotu，足立志穂(兵庫)，菊池真司(鳥取)，田中克典(岡山)，菊池慎一(香川)，佐藤美緒(福岡)，山田智子(佐賀)，井上公一，今山輝之(宮崎)，Khun

Leanghak(沖繩)

団体会員入会：山梨県総合農業試験場(山梨)

外国会員入会：古新梅(中華民国)，Reid G. Palmer(U. S. A.)

住所変更等

普通会員：伊藤裕之，岩田洋佳，上原泰樹，南忠，山岸真澄，我妻尚広(北海道)，高館正男(青森)，伊東明子，高橋大輔，松永啓(岩手)，池田良一，岡成美，小島洋一郎，小巻克巳，佐藤美津穂，花田俊男，宮本勝，山本将之，吉岡藤治(茨城)，大橋幸雄(栃木)，鈴木茂(千葉)，須田廣勝，新田直人，山本昭夫(東京)，笹沼恒男(神奈川)，三浦清之(新潟)，村松幸夫(長野)，小森俊之(静岡)，平井篤志(愛知)，福岡浩之(三重)，牛島幸一郎，大迫敬義(京都)，大野清春(兵庫)，菊池彰夫(香川)，比良松道一(福岡)，中村典義(佐賀)，荒井治喜(熊本)，日高哲志(鹿児島)，正田守幸(沖繩)

学生会員：石崎琢磨，山室千鶴子(北海道)，中田暎(宮城)，山田仁美(茨城)，山田美加(埼玉)，石川裕子(京都)，小川孝之(奈良)

名誉会員：蓬原雄三(愛知県)

外国会員：(国内より外国へ)張斌(中華人民共和国)，鷲田治彦(U. S. A.)

逝去

海野芳太郎(北海道：酪農学園大学)